

2004.6月号

NIPPON GOOD PARTS

No.158

NEWS

エコブリッジ「リサイクルカーチェア」

リサイクルカーチェアで エンドユーザーにもっと自動車 リサイクルを身近に感じてもらう!!



エコブリッジの
リサイクルカーチェア

NGPグループメンバーであるエコブリッジ（青森県八戸市：中里明光社長）は、使用済自動車から排出される座席部分と建築資材からでる木材の廃棄部分を活用して、「リサイクルカーチェア」を開発した。

現在、特許実用新案を出願中で、すでに地元銀行やカーディーラーなどからの注文があるなど、注目を集めている。



エコブリッジ 中里明光社長

「もったいないを形に」考案!!

この「リサイクルカーチェア」は、エコブリッジで使用済自動車を解体していく中で、部品はリサイクル部品として活用できるが、自動車のシート部分はまだ使えるのに廃棄してしまうことが多く、“何とか役立てることはできないか？もったいないを形にしたい！”そんな中里社長の思いがきっかけであった。

もともと自動車の座席部分はカーメーカーが人間工学に基づいた設計で作成しているため、座椅子として活用するのにも最適なものである。更にリクライニング機能や前後調節部分はそのまま生かすことで汎用性の高いものとなっている。

また、台座部分には廃材を活用することで、木の温かみが変わり、プレス圧入製作で釘を一本も使用せずに組み立てる

などして、単なるリサイクル品というだけでなく、製品として魅力ある家具に生まれ変わったものとなっているのが、このリサイクルカーチェアの特徴といえる。

エンドユーザーへの 啓蒙ツールとしても

エコブリッジではリサイクル事業への理解を深めてもらうため、このリサイクルカーチェアを同社のお客様に対してPRという形で試作展示を行っていたところ、“是非、購入したい”という反響が思いのほか多く、“商品化してはどうか？”というアドバイスをもらい、製品化することとなった。

現在、注文を受けて製作しているのは銀行やカーディーラーなどで、環境保全、グリーン購入といったイメージアップに活用したいというのが大きな理由との事。



廃棄されるしかなかった座席部分のパーツに新しい命が吹き込まれていく

中里社長は、「自動車リサイクル法施行に向けて、カーディーラーや整備工場の方々が自動車ユーザーへ様々な情報を発信していかなければならない状況となっています。その時に、このリサイクルカーチェアをツールとしてまた、啓蒙活動の一つとして、ご活用いただければ」と語っている。

第10回

新NGPマンが新たな決意

NGPグループ基礎研修会 を開催

全国から140名の研修生が参加

4月26日～4月29日 あいおい損害保険(株) 小田原研修所

NGPグループは去る4月26日～29日の4日間の日程で第10回基礎研修会を開催した。全国の会員メンバー各社から若手社員を中心に140名の受講生が集まり、NGPグループの基本理念、三大信条などを学び、改めてNGPマンとしての自覚と誇りを持って“お客様第一”を実践していく基盤を研修生各々が身につけ、新たな決意を胸に刻んだ。



研修生、講師をはじめ全員で記念撮影

集団行動の中から、共通の商品を販売する仲間意識の向上を学ぶ

NGPグループの基礎研修会は一般企業でいうところの新入社員研修に当るものだ。

この研修の最大の目的は、NGPグループのメンバー各社が、会社は違ってもリサイクル部品という同じ品質基準の商品を扱うものとして共通認識を持つことが必要であり、それがNGPグループの基本理念「お客様第一」に繋がるものとして新入社員でもNGPグループのメンバー会社に入社した以上、同じ認識で商品の生産・販売を行うための基本を学ぶことにある。

そのため、研修はそれぞれ違う会社から来た者同士、各班単位に分かれて行われる。その中で、整列、挨拶、体操、暗記といった訓練を全て班行動で行い連帯責任のもと、互いに助け合い、皆が揃って試験に合格するように研鑽を積んでいく。ここで身に付けた仲間意識や団結力は、やがてNGPグループとしての組織力向上に繋がり、またグループのお客様に対しても、より良い商品、より良いサービスを提供する礎となっていくものである。



青木会長より研修生に修了証書の授与



挨拶訓練、まずはお辞儀の仕方から

各講師による講義で、今の業界状況、これからのリサイクル業界を学ぶ

研修では、NGPグループについての勉強会の他に現在のリサイクル部品業界の状況やお客様である自動車整備業界の現状、あるいは来年1月から本格施行となる自動車リサイクル法に関する講義も行われ、受講生たちは、自分たちの今置かれている状況やこれから自動車リサイクル部品業界がどのように変わっていくのかなどを改めて学んだ。

受講生の真剣な眼差しに、講師陣もそれに応えるがごとく、講義にも熱がこもっていた。研修生の一人は「普段、あまり自分の仕事以外のことを考えることがなかったが、改めて自分の置かれている立場、この自動車リサイクル部品業界がどんどん変わってきていることを痛感しました。」と話していた。

新たな決意を胸に研修生の代表が決意表明

研修最終日となった29日は、研修を最後まで終えた受講生全員が修了試験に合



各班に分かれての整列訓練

格、青木勝幸会長から修了証が研修生に授与された。

青木会長は、「4日間の研修、ご苦労様でした。いろいろ大変なこともあったと思いますが、この研修で終わりではありません。これからがスタートです。皆さんが各自会社に帰って、この4日間の研修で学んだことを活かして、NGPグループメンバー、北海道から九州まで皆が同じ価値観で高品質で正確な商品をお届けできるよう、これからも強い仲間意識と信頼関係を絶対に忘れないで頑張ってください。」と研修生にエールを送った。

最後に研修生の各班代表が“決意表明”を行い、研修生全員が新たな決意を胸に研修会を終了した。



各班の代表者による決意表明が行われ研修会も無事終了

エンジンスターター「かけるくん2」を開発 (株)ユーパーツ

業界初のコモンレール式エンジン対応

NGPグループメンバーでもある(株)ユーパーツ(清水信夫社長 埼玉県熊谷市)は、このほどエンジンスターター「かけるくん2」の開発、販売を開始した。

エンジンスターターは事故車などから取り外したエンジンを単体で始動させ、エンジン状態を調べる検査機器としての用途などに用いられる。

同製品は、同社から発売されて好評を博した「かけるくん」の後継機にあたり、業界初となる「コモンレール式エンジン」にも対応しているのが大きな特徴だ。

コモンレール式エンジンは、排気ガス規制や環境問題などにより、近年脚光を浴びるものとなり、新型のディーゼル車の多くに採用されるようになった。

ディーゼル車のエンジンとしては、コモンレール式がいずれ主流となっていくと考えられ、リサイクルエンジンを取り扱う事業者からは、コモンレール式にも対応したエンジンスターターへの要望が高まっていた。

また「かけるくん2」は、これ一台でガソリン・ディーゼル両方のエンジンの測定が可能で、対応エンジンや機能も既存機より増えており、実際の測定では、エンジンを始動させて各気筒ごとに繋いだプラグでパワーバランス・油圧・負圧などを数値データとして算出し、エンジンの状態を簡単にチェックできるなど、作業効率・信頼性も向上している。



対応エンジンも増えてますます汎用性の高くなった「かけるくん2」



E/G始動中に燃料噴射量、点火時期も調整可能

自整業も自動車リサイクル法 知っ得ゼミナール

預託金の納入方式について

先月号では、整備工場が行うリサイクル料金の車検時預託の代行について、指定工場と認証工場ではその方法、やり方が違うというお話を中心に車検時預託業務の流れについてお話ししてきました。

今月号は指定工場がリサイクル料金の預託代行業務を行った際の預託金の納入方式について、話していきたいと思います。

この預託金の納入方式については整備工場が、より利用しやすい環境を作るため、コンビニエンスストア・郵便局口座振替を金融機関口座引落しの3つの収納方法が採用され

ることになりました。

それぞれにメリット・デメリットがあるため、整備工場は自社に適した納入方式をあらかじめ選択して、リサイクル料金の預託申請から実際にリサイクル券の発行が可能となるまで、どれくらいのタイムラグが生じるのか?を知っておきましょう。

これはリサイクル料金の収納方法によって異なります。コンビニ(スマートピットカード等)を使ってユーザーがリサイクル料金を支払った場合、最大30分以内で預託確認が可能で、その後すみやかにリサイクル券の発行ができます。

しかし、郵便局口座振替による収

納の場合、預託申請の3日後に口座振替が実施されるため、その翌日からリサイクル券の発行が可能となります。また、預託申請が当日午後5時を過ぎると翌日の申請となる為、最大で4日から5日間のタイムラグが生じることになります。

金融機関での口座振替は各事業所で1枚ずつリサイクル券を発行する場合、即時発行が可能ですが、各事業所で大量(一括)発行する場合は、データ処理を夜間に行う為、翌以降にリサイクル券の発行が可能となります。

NGP 通信欄

<新入会員 支店・営業所>

ブロック	コードNo.	会社名	会社代表者	電話番号	FAX番号	郵便番号	住所
中部東海	584	脩山一商店 高山営業所	山田 彰	0577-35-5963	0577-37-0347	506-0808	岐阜県高山市松本町21-5

<FAX番号 変更>

ブロック	コードNo.	会社名	新FAX番号
北海道	105	石上車輛株式会社	011-854-0986

● NGPグループ リビルトメーカー協力会メンバー紹介

ウラワ産業

【株松井製作所 ウラワ産業事業部】

NGPグループ・リビルトメーカー協会のメンバーであるウラワ産業（松井製作所ウラワ産業事業部 松井秀太社長）は、国内外の自動車メーカーなどにプロペラシャフトやUジョイントといった駆動系部品を供給する部品メーカーである。リビルト事業は1985年よりスタートし、1998年には国内の自動車リビルト部メーカーとしては初となる国際品質規格ISO9002を取得した。

新品部品の製造も手がける同社がリビルト部品は、何と言ってもその高品質が大きな特徴である。

ISOの認証取得以前から同社は「品質経営」を基本とし、URWブランドの商品は国内・海外のユーザーからも信頼度NO.1の高い評価を受けている。

ISO取得後は、同社のリビルトアイテ



モータースポーツの世界でも、URWブランドの商品は高い評価を受けている



高性能・高品質、ウラワ産業のリ・マン商品

ムであるドライブシャフト・パワーステアリング・ラック&ピニオンなど全ての製品に作業標準を設け、ニュー部品の製造・完成品テスト等を組み込んだ自社独自のリビルト工法を生み出し、高品質な商品を安定してリビルト部品を供給できるシステムを構築している。

また、同社ではリビルトキャリパーの

市場を現在開発しており、新たなリビルト商品のパイオニアとしても活躍している。

「これからもウラワ産業は品質第一を基本とし、安心して、信頼していただけるリビルト部品をNGPメンバーのお客様に供給していきたいと思っております。」

（営業部主任坂本英二氏）



NGPグループでは高品質、高性能の各種リビルトパーツの販売も行っております!!

NGPグループリビルトパーツ取り扱い商品一覧

分野	品目
外装・機能部品	エンジン、トランスミッション(AT・MT)、トルクコンバーター、ターボチャージャー、噴射ポンプ、パワーステアリングギアボックス、ラック&ピニオン、ドライブシャフト、ACコンプレッサー、パワステポンプ、シリンダーヘッド、バンパー
電装系部品	スターター、オルターネーター、ECVTミッション、エンジンコンピュータ、スピードメーター

各種リビルト商品のご注文・お問い合わせは各NGPグループ加盟店にご用命ください

NGPグループ本部

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp

株NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201